

2024（令和5）年度 自己評価報告書

2025年5月
市原うさぎ幼稚園

1. 本園の教育目標 「自分で考えて、自分で行動できる」ようになること。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

一人ひとりの幼児を大切にした質の高い教育の実践を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	「特別支援教育」子どものありのままの姿を受け入れ、子どもそして家庭に対しても、一人ひとりに合ったサポートを柔軟に行うこと	B	関係機関、家庭と連携し、職員間で情報を共有するようにした。 一人ひとりについて方針を決めて対応した。
2	「教育環境」英語や水泳など、園の教員以外の講師から指導を受けることで、興味関心を広げること	B	水泳や英語は上達が感じられ、子ども達が楽しんで参加していた。
3	「教育環境」教職員が子どもの育ちを保護者と共有し、ともに伴走しているような一体感を持てるような支援方法を増やすこと	C	保護者一人ひとりの事情を理解し、課題を共有し、協力して改善していけるような関係作りに努めた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	個々の仕事に追われてしまう面もあったため、会議等を定期的に行い、情報を共有し、園としての共通の意識のもとで保育を行う必要がある。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育環境	保育室、園舎内、園庭の環境を、子どもの保育・生活・遊びと密接に関係するものとして見直して、両者を一体に考えながら改善を図る。
2	適正な生活指導	子どもの生活態度、言葉遣い、マナー等について、基準が見えにくくなっているため、園として統一された考えを持つようにする。 同時に保育者の言葉遣いやマナー等についても改めて学び、改善する。
3	情報提供	情報提供の拠点としてホームページの情報を整理し、適宜更新していく。 各種媒体での広報、SNS等での発信を増やし、HPと繋げていく。
4	子育て支援	子育て支援センターの活動を活発にし、地域の子育て支援機能を強化していくとともに、より広い層に園を知ってもらえるように努める。